

令和元年9月議会 宇都宮市議会定例会報告

一般質問
一問一答方式

福田智恵



質問項目

- 1 2025年問題への対応について
- 2 市街地（本庁管内）における地域内交通の導入および移動手段の確保について
- 3 健康福祉都市の推進について
 - 1) 生活習慣病予防に係る行動変容ツールについて
 - 2) 思春期・若年成人（AYA世代）のがん検診について
 - 3) ヘルスリテラシーについて
 - 4) 骨髄移植の推進について
- 4 ひきこもりへの支援について
- 5 人口減少時代の新しい社会教育について
- 6 教育行政について

教育改革について、「遊び」の確保について、多様性を認め合う社会について、不登校について

質問及び答弁（抜粋）

1 2025年問題への対応について

Q ネットワーク型コンパクトシティと地域包括ケアシステムとまちづくりを一体的に推進しているが、今年度計画している地域別データ分析をどのように本市施策に展開するのか見解を伺う。

地域共生社会の構築に向けては高齢者だけでなく、生活困窮者、障がい者、ひきこもり、こども、地域住民を包摂していくことが求められ、その業務内容は多岐にわたる。加賀市では地域包括支援センターの業務の一部を小規模多機能型居宅介護支援施設に委託して地域包括支援センターの負担軽減を図っている。本市においての見解を伺う。

A 現在、保健福祉のほか都市整備や交通、地域まちづくりなどの分野横断的な庁内検討チームにより、国民健康保険データベースや、公共交通・生活利便施設等の状況など、様々なデータを収集するとともに、外部の専門家から意見を伺い、分析を進めている。分析結果については、健康づくりなどの計画立案、新たな施策の企画立

案、業務の効果検証などに活用するとともに、地域に積極的に情報提供することにより、市民の主体的な取り組みを促進していく。

今後は、地域包括支援センターの相談業務の複雑・多様化が見込まれることから、地域共生社会の実現を見据え、多様な世代に対する切れ目ない包括的な相談支援体制についても検討していく。

4 市街地（本庁管内）における地域内交通の導入および移動手段の確保について

Q 市街地の交通弱者は想像以上に増加しており、デマンド交通の必要性を感じている。東京特別区などでは、タクシーの初乗り運賃を引き下げることで短距離利用の需要に据えている。移動手段及び生活交通の確保について、見解を伺う。

A 「市街地における生活交通確保ガイドライン」に基づき、現在5地区で検討が進められている。公共交通の整っている市街地部の生活交通については既存のバス路線の有効活用を基本としている。タクシーの活用については既存公共交通への影響が懸念されることから慎重に検討する必要がある。

一般質問
一問一答方式

中塚英範



質問項目

- 1 新しい活力を生み出す産業政策・街づくりについて
 - 1) 新産業団地の進捗状況について
 - 2) 企業誘致を生かした新しいまちづくりについて
- 2 こどもの貧困対策について
 - 1) こどもと子育て家庭等に関する生活実態調査に基づく対策について
 - 2) こども食堂とこどもの居場所事業について
 - 3) 学習支援の拡充について

3 聴覚障がい者への理解促進と社会参加に向けた取り組みについて

- 1) 聴覚障がい者への合理的配慮と手話で社会参加できる環境整備について
- 2) 手話言語条例の制定について

4 災害時における避難所のあり方について

- 1) 被災者・避難者同士のコミュニケーションの場の設置について
- 2) 女性の尊厳と健康を守る対策について

5 会計年度任用職員について

質問及び答弁（抜粋）

2 こどもの貧困対策について

- 2) こども食堂とこどもの居場所事業について

Q こども食堂は、食事の提供はもちろんのこと、遊び場でもあり、学習の場でもあり、相談の場でもあり、送迎も行い、不登校や障がいを持つこどもも受け入れる等、「こどもの居場所事業」に近い所も増えている。このままでは、ほ

ほ完全ボランティアで行っていることも食堂では対応しきれなくなり、困難な状況が重いこども程利用を断らなければならなくなったり、閉店が懸念されることから、こども食堂の活用及び役割分担の観点から、「子どもの居場所事業」として行っている宇都宮市要支援児童健全育成事業の対象者要件を「在宅にあって十分な養育が受けられない子ども」つまりネグレクト等となっている要件を緩和するとともに、現在の2カ所から拡充するべきと考えるが見解を伺う。

A こどもの居場所事業は、養育放棄等の児童虐待の防止に直接つながる取組みであり、個々の家庭に応じた、より専門的な支援が必要であることから、「対象者の要件緩和」については支援を要する子育て家庭に個々の状況に応じた適切な支援を提供する仕組みづくりを検討する中で必要性を含め検討していく。また、実施個所の拡充についても学校や地域等との情報共有を行いながら支援が必要な児童のより一層の把握に努め、必要に応じて対応を検討していく。

一般質問
一問一答方式

郷間康久



質問項目

- 1 市長の政治姿勢に関すること
 - 1) 職員の労働環境について
 - 2) 児童相談所の設置について
 - 3) 文化・スポーツ部門の市長部局化について
 - 4) マイナンバーカードの一斉取得について
- 2 LRT整備に関すること
 - 1) 新たな都市政策との関係性について
 - 2) 平出町トランジットセンターゾーンの将来像について
- 3 教育行政に関すること
 - 1) 通学路の安全対策について
 - 2) 小規模特認校制度について
- 4 姉妹都市交流の今後について
- 5 農業集落排水と公共下水道の接続について

6 音楽のまちづくりについて

質問及び答弁（抜粋）

1 市長の政治姿勢に関すること

- 2) 児童相談所の設置について

Q 国は中核市の児童相談所設置に関してさらなる支援をしていく方針を打ち出しているが、宇都宮市は独自の相談所設置を考えているのか。

A 県が策定する「社会的養護推進計画」の中で、児童相談所の現状を踏まえ、機能強化や連携のあり方について協議し、5年後を目途に国が見直しを予定している中核市の児童相談所の設置方針等も注視しながら検討を続けていく。

4 LRT整備に関すること

- 2) 平出町トランジットセンターゾーンの将来像について

Q このエリアは新4号国道に隣接し、LRTと幹線道路が交差する交通結節点となることから、魅力的な「道の駅」を誕生させる絶好の機会。本市の農業振興や交流人口の増加が期待できると思われるので、早急に国交省と協議をしてはどうか。

A 平出町トランジットセンターゾーンについては、飲食店や農産物の直売、加工販売所

などの他、スポーツ関連施設等を整備し、多くの人々が集い、交流できる空間の創出をめざして地権者や地域の皆さまと意見交換をしながら、民間活力を最大限に生かした手法等を検討していく。

5 農業集落排水と公共下水道の接続について

Q 平石地区の農業集落排水施設は老朽化が著しいことを考慮し、早期に公共下水道との接続を考えるべきではないか。

A 平石地区の集落排水処理施設は公共下水道に隣接しており、整備時期が古いことから、接続の優先度は高いものと考えている。

6 音楽のまちづくりについて

Q ジャズに特化した音楽のまちづくりを見直し、路上音楽家の認定制度や「ストリートピアノ」の設置等を実現して、街角に様々なジャンルの音楽があふれる宇都宮をめざしてはどうか。

A 路上音楽家認定制度については、演奏を希望する声が多く、街なかで発表の場や機会が一定確保されているため制度化を見送ったが、「ストリートピアノ（街角ピアノ）」については実施に向けて準備を進めているところである。

私たちは皆様の声を市政に活かします!!

次回12月議会質問予定者
小平美智雄・宇梶哲・高橋英樹